

【2020年1月20日解禁】

「日本自然保護大賞 2020」の授賞者が決定！ 3月22日に「授賞記念シンポジウム」を開催します



日本自然保護大賞は、すべての個人と団体・企業・自治体等を対象に、地域性、継続性、専門性、先進性、協働の観点から、生物・生態系の研究、自然保護の実践、環境教育の推進などの優れた活動を表彰するものです。

これまで、のべ 519 件のご応募をいただき、36 団体・名に授与してまいりました。第 6 回となる今回は、SDG s や生物文化多様性への関心や行動の高まりなどを踏まえて、より幅広いジャンルから募集し、全国各地から 80 団体・名／111 件のご応募をいただきました。

いずれも熱意にあふれた意義ある活動ばかりでしたが、活動の将来性や社会への波及性に注目して慎重に審議した結果、**大賞 3 部門のほか、特別賞として沼田真賞 1 件、選考委員特別賞 2 件への授賞が決定いたしました。**また、**18 の活動が入選**となりました。

授賞者

【大賞】

- **保護実践部門** **株式会社 加藤建設** (愛知県)
「エコミーティング」活動～自然を守る現場監督をめざして
- **教育普及部門** **元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会** (山形県)
子どもたちとつなぐ、おらだ田んぼの魅力と田園地域の未来
- **子ども・学生部門** **鈴鹿高等学校 自然科学部** (三重県)
日本固有の淡水魚・ネコギギの保護と「ネコギギサミット」の開催

【特別賞】

- **沼田真賞** **阿部 治** (東京都)
「国連 ESD の 10 年」への取り組み等をととした環境教育の発展への貢献
- **選考委員特別賞** **日本野鳥の会東京** (東京都)
葛西海浜公園・三枚洲、東京都初のラムサール条約湿地登録への貢献
- **選考委員特別賞** **宮部 碧** (愛知県)
自分にもできることはなにか～「猛禽新聞」をととして伝えたいこと

授賞記念シンポジウム

- **日時** 2020年3月22日(日)
- **会場** 3×3 Lab Future (さんさんラボ フューチャー)
東京都千代田区大手町 1-1-2 大手門タワー・JXビル 1階 ☎03-3287-6200
- **内容** 10:30～11:50 **表彰式、記念撮影** (関係者・メディア取材のみ)
13:00～15:45 **シンポジウム** (一般公開／無料 80名、各受賞者による活動発表)



株式会社加藤建設



鈴鹿高等学校 自然科学部



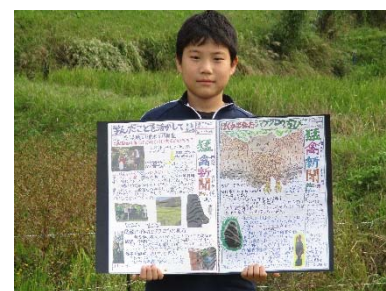
元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会



阿部 治



日本野鳥の会東京



宮部 碧



2018年度「日本自然保護大賞 2019」授賞式

地域の自然に根ざし、新しい発想や多様な協働で取り組まれている社会貢献活動にぜひご注目いただき、全国の報道でご紹介くださいますようお願い申し上げます。ロゴデータや受賞者の活動写真のご掲載、シンポジウムの取材のお申込のほか、本件に関するお問合せは、下記担当までご連絡ください。

担当・お問合せ先

公益財団法人日本自然保護協会 日本自然保護大賞 2020 担当／芝小路(しばこうじ)、鶴田(つるだ)

☎ 03-3553-4101 ✉ award@nacsj.or.jp

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 ミトビル 2F

入選者

(18 件／都道府県順)

入選者名	都道府県	活動テーマ
秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部	秋田県	開発により酸性化した田沢湖の環境を科学的研究でもとに戻す
住友林業株式会社	東京都	富士山麓の自然林再生活動 富士山「まなびの森」プロジェクト
東芝デバイス&ストレージ株式会社グループ	東京都	全国の半導体製造拠点で行う、地域密着型の生物多様性活動
トリプター	東京都	身近な自然が一番面白い！ 0 歳児から大学生まで、都心で自然観察
日清食品ホールディングス株式会社	東京都	ビオトープ造成による生物多様性の向上と里山保全活動
新潟市	新潟県	越後平野における新たな地域学 「みんなの潟学」を活用した取り組み
岐阜県立加茂高等学校	岐阜県	アルゼンチンアリから日本のアリを守れ！ 誘導捕獲装置の作成
高富中生物部&富岡小生物部	岐阜県	守れ！ふるさとのヒダサンショウウオ
富士山エコレンジャー連絡会	静岡県	自然に親しむ公共の歩道と路傍の植生や小動物を守る
豊橋市教育委員会、豊橋湿原保護の会、 豊橋自然歩道推進協議会	愛知県	土壌シードバンクの埋土種子を活用し、森林化した湿地を再生・保護
NPO 法人 里山保全活動団体 遊林会	滋賀県	奇跡的に残った平地の里山を、人と未来につなげる活動
京都府立宮津高等学校 フィールド探究部	京都府	丹後半島の里山における植物保全・希少種保護・巨樹分布リストづくり
琴引浜ネイチャークラブハウス	京都府	琴引浜に寄る海ごみのありさまを調べ、鳴き砂の浜や海を守るためにできること
NPO 法人 棚田 LOVER's	兵庫県	棚田を愛し、棚田を育む 自然観察とともに命を味わう教育普及活動
認定 NPO 法人 自然再生センター	島根県	中海のオゴノリの回収による水質浄化と循環型システムへの取り組み
NPO 法人 奥雲仙の自然を守る会	長崎県	田代原草原での地域と大学・企業を結びヤマキリシマ保全活動
漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会	沖縄県	みんなの手作り水族館が可能にした、ユニークな魚類モニタリング
やんばる DON ぐりーず	沖縄県	やんばるの森の素晴らしさを伝え、森林伐採中止を求める活動



「日本自然保護大賞 2020」の事業概要



- 主催 公益財団法人 日本自然保護協会
- 協賛 経団連自然保護協議会
- 後援 環境省、国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）、自然保護憲章普及協議会
- 協力 エコツツエリア協会（一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会）
- 応募部門

【保護実践部門】 市民、大学生、専門家、企業、行政などがそれぞれの立場と特性を活かし、具体的な自然保護の実績をあげた活動、研究

【教育普及部門】 自然観察をはじめ、広く自然保護を目的とした教育・普及活動

【子ども・学生部門】 小学生から高校生まで、子どもが主体的に取り組んだ活動、研究

* 上記の大賞3部門のほかに、該当者がいる場合は特別賞として「沼田眞賞」「選考委員特別賞」を授与

沼田眞（ぬまたまこと）博士は、生態学者として自然保護の重要性を科学的に説き、日本自然保護協会の元会長として自然を守ることの大切さを訴え、日本の自然保護を国際的な水準に高めました。沼田博士の志を未来に伝えていくにふさわしい実績や科学性をもった活動に、特別賞として「沼田眞賞」を授与します。



- 応募方法：自薦・他薦を問わず、複数の部門に応募可
- 選考方法：日本自然保護協会事務局による一次選考を経て、選考委員による最終選考会で審査
- 選考ポイント：地域の自然の特性に根ざした活動、継続することの価値や意義がわかる活動、高い専門性に基づいた活動、新しい技術やアイデア、枠組みを活かした活動、多様な主体の連携や協働のある活動
- 選考委員：
 - 亀山 章 選考委員長、日本自然保護協会理事長／東京農工大学名誉教授
 - 吉田 正人 日本自然保護協会専務理事／筑波大学大学院教授
 - 石原 博 三井住友信託銀行(株)業務部兼経営企画部 CSR 推進室審議役／経団連自然保護協議会企画部会長
 - イルカ IUCN 親善大使／シンガーソングライター／絵本作家
 - 神谷 有ニ 株式会社山と溪谷社 自然図書出版部部長・デジタル事業推進室室長
 - 中静 透 総合地球環境学研究所特任教授

（敬称略）

公益財団法人 日本自然保護協会（NACS-J）

日本自然保護協会は、日本の自然を守る活動に取り組む社会貢献団体です。1949年に尾瀬ヶ原の発電ダム計画への反対運動のために設立された「尾瀬保存期成同盟」を前身として、1951年に創立。1960年、日本の自然保護団体として初の財団法人化。2011年、公益財団法人認定。理事長・亀山 章、会員数約2万5000人。事務局所在地・東京都中央区。国際自然保護連合日本委員会（IUCN-J）の事務局も担当。NACS-J（ナックス・ジェイ）は英名の略称。